



MORI SEIKI

THE MACHINE TOOL COMPANY

2007年3月期 中間決算説明資料

2006年10月31日

本資料には将来の業績見通し及び事業計画等に関する記述が含まれております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なるリスクや不確実性があることをご承知おき下さい。



決算概要

中間期実績 : 大幅増収増益

売上高 784.3億円 (前年比18.8%増)

営業利益 100.3億円 (前年比79.8%増)

キャッシュフロー (CF) 経営の徹底

事業からのCF増加: 117.2億円

テクニカルセンタ (TC)・遊休土地売却によるCF増加: 46.2億円

欧州での友好的M&A : スイス DIXI MACHINES社

財務の健全化 : シンジケートローン繰上返済

シンジケートローン100億円を繰上げ返済

株主資本比率70.0% 75.8%に

株主還元策: 中間配当の実施

1株配当金 中間期: 20円

年間: 40円



DIXI社買収について

スイスのDIXI MACHINES社と買収仮契約書を締結

1. 森精機初の海外生産拠点

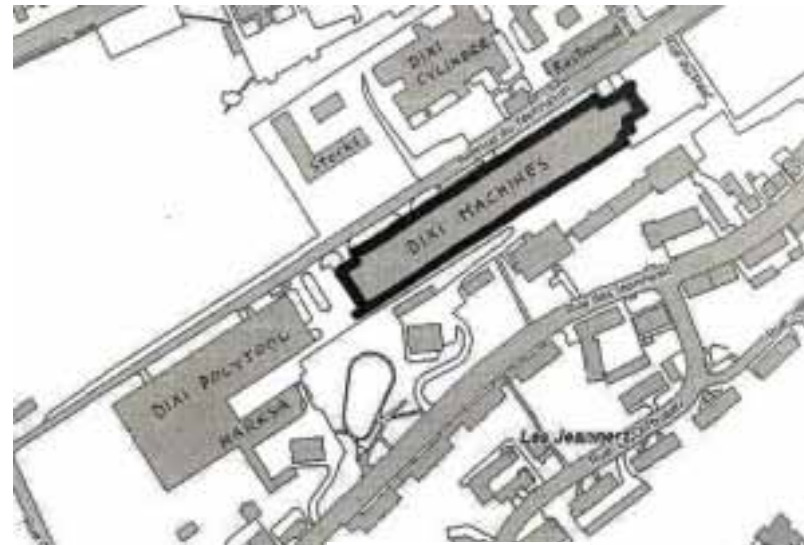
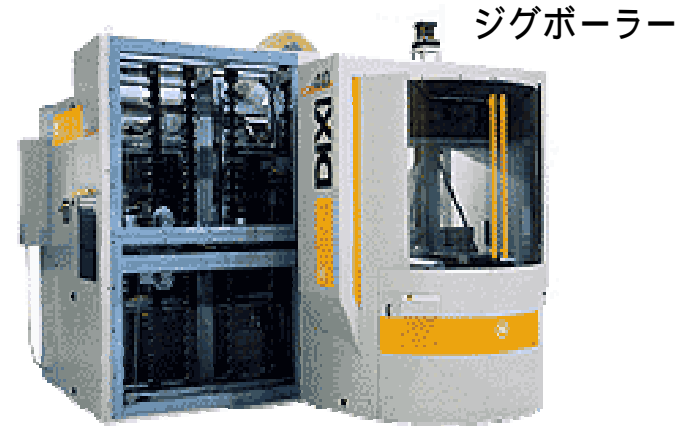
2. DIXI社のブランド・製品の生産・販売権の獲得

3. 欧州市場でのシェア拡大へ

社名	: DIXI MACHINES S.A.
所在地	: スイス Neuchatel州 Le Locle市
設立	: 1904年
代表者	: Mr. Paul Castella
生産品目	: ジグボーラー、マシニングセンタ
年商	: 約16億円(2005年度)
従業員数	: 80名



DIXI社について



工場周辺地図



シンジケートローンを前倒し返済

2003年9月借入のシンジケートローン200億円の
残存元本100億円を9月12日に全額返済

1. 金利リスクの排除と支払利息の節減

- 利息節減額 65百万円

2. 資産効率の向上

- ROA 0.18%改善
2006年3月期末からの現預金の変化
315.8億円 307.6百万円

3. 財務体質の強化

- 株主資本比率4.7%向上
第1四半期からの変化
70.0% 75.8%



TC・遊休土地の売却・移転完了

2006年9月27日にTC売却決済完了
9月18日に26ヶ所の新TC営業活動開始

1. 機動性の確保

- オフィスビルを拠点としたビジネスモデルへの転換

2. ランニングコストの削減

- 年間302百万円 292百万円(見込み)

3. キャッシュフローの改善

- 資産売却に伴う46.2億円のキャッシュイン
 - 税務上の損失実現に伴う54.1億円の税負担軽減
- 合計100.3億円のキャッシュフロー改善

バブル期に取得した不良資産の一扫が完了



ガバナンス・コンプライアンスの状況

日本版SOX法対応、1年前倒しで達成へ

1. 業務プロセスの文書化

- 上期で本社の業務プロセス文書化終了。
- 連結会社への展開を開始、3月までの文書化完了を目指す。

2. 不備事項改善・ウォークスルーの実施

輸出リスクへの対応

1. 輸出管理プログラム遵守の徹底

2. 衝撃感知センサ搭載による不正移転防止



市場・事業サイクルと当社の戦略

	今までの動向	今後の見通し
工作機械市場環境	<ul style="list-style-type: none"> 国内・アジア市場が牽引 ほぼ全業種好調(特に自動車、エネルギー関連) 	<ul style="list-style-type: none"> 国内高原、欧州が牽引(アジアが一服) 一般機械、エネルギー関連、航空機関連牽引
当社の市場・製品戦略	<ul style="list-style-type: none"> 国内シェア拡大・欧州強化推進 Nシリーズ化の推進、NT・DURAの投入 	<ul style="list-style-type: none"> 欧州強化が本格寄与 NT・DURAが本格寄与
設備投資戦略	<ul style="list-style-type: none"> 中期計画220億円のうち、165.9億円集中投資 	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資は償却の範囲内で平準化
企業価値への効果	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資先行、販売拡大投資先行、財務健全化促進 	<ul style="list-style-type: none"> 投資回収期 次期事業拡大に向けた資金再構築期



P/L: 大幅な増収増益基調続く

連結ベース

(百万円)	2006年3月期 中間期	2007年3月期 中間期		
	実績	実績	増減	対前年比
売上高	66,042	78,431	12,389	18.8 %増
営業利益	5,577	10,029	4,452	79.8 %増
(売上高比率)	8.4%	12.8%	4.4%	-
経常利益	5,307	10,037	4,730	89.1 %増
(売上高比率)	8.0%	12.8%	4.8%	-
税引前利益	5,033	5,032	-1	0.0 %増
当期利益	4,536	4,585	49	1.1 %増
(換算レ - ト 1US\$=)	(110.36)	(114.98)		
(1EURO=)	(135.72)	(136.15)		

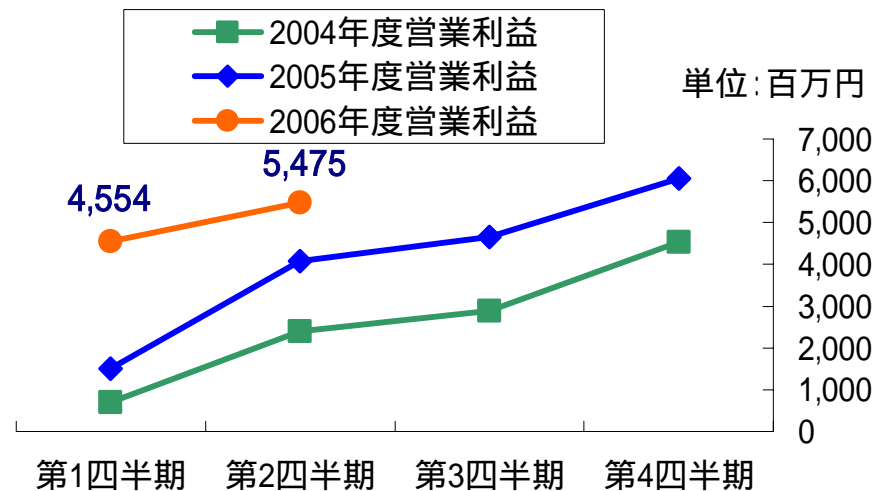
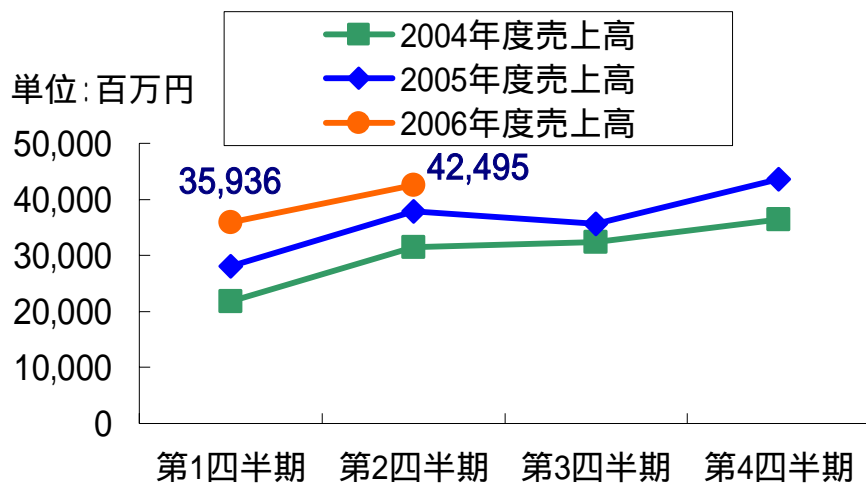
為替レートは、2006年3月期中間期は実勢レート、2007年3月期中間期は実際の入金レートになっております。



四半期毎の上昇トレンド継続

連結ベース

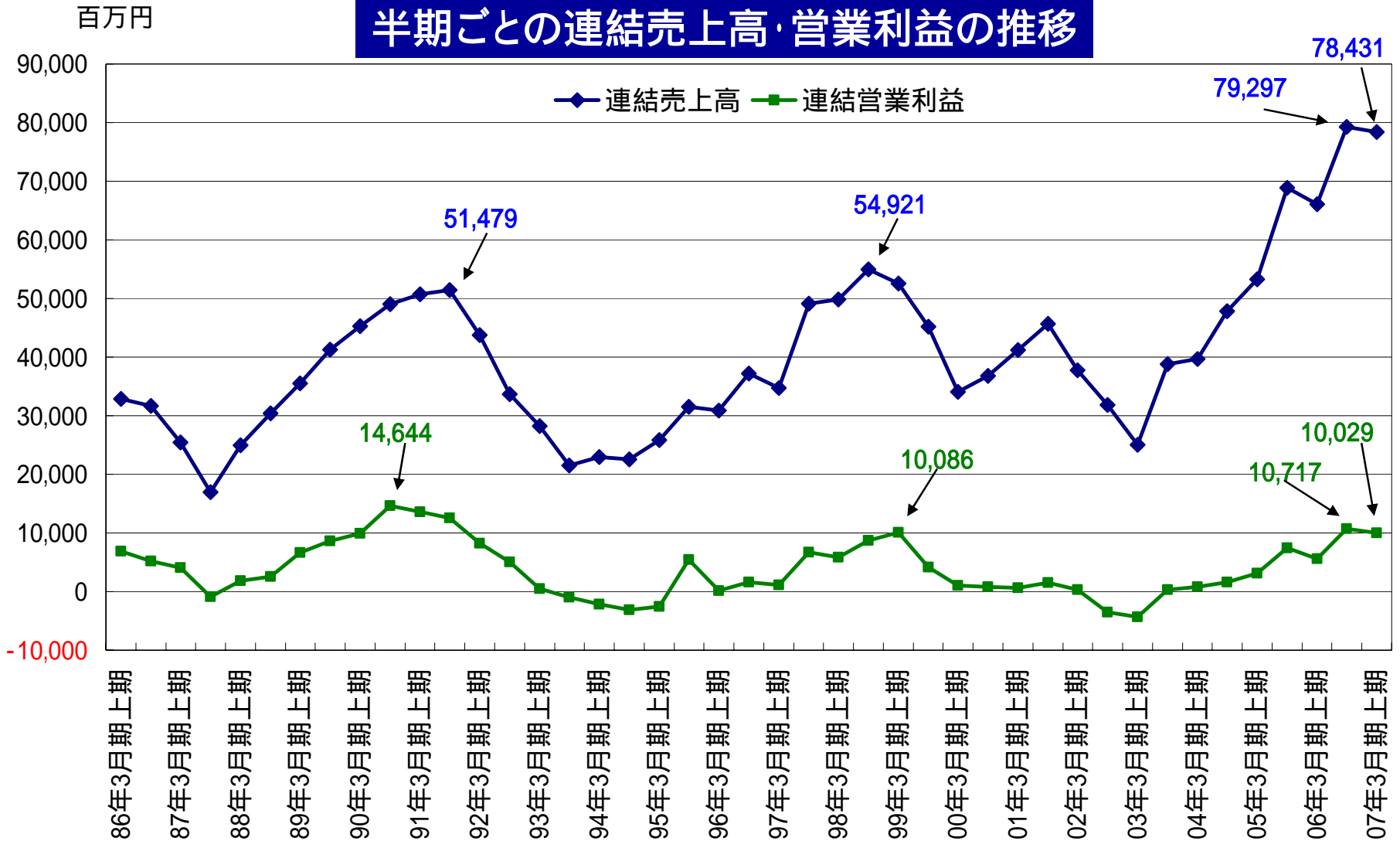
(百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2004年度売上高	21,790	31,521	32,415	36,440
2005年度売上高	28,122	37,920	35,699	43,598
2006年度売上高	35,936	42,495		
2004年度営業利益	704	2,397	2,885	4,531
2005年度営業利益	1,505	4,072	4,655	6,062
2006年度営業利益	4,554	5,475		





半期の売上・利益も最高水準に

半期ごとの連結売上高・営業利益の推移





B/S: さらに強固な財務体質に

連結ベース

(百万円)	2006年3月期	2007年3月期		(百万円)	2006年3月期	2007年3月期	
	3月31日実績	9月30日実績	増減		3月31日実績	9月30日実績	増減
資産の部				負債・資本の部			
流動資産	89,365	88,824	-541	流動負債	26,032	22,755	-3,277
現金預金	31,582	30,757	-825	買掛金	9,697	10,265	568
売掛債権	29,961	28,006	-1,955	短期借入金	1,320	1,500	180
在庫	25,063	27,116	2,053	一年以内返済長期借入金	5,084	0	-5,084
その他	2,759	2,945	186	その他流動負債	9,931	10,990	1,059
固定資産	73,413	64,481	-8,932	固定負債	19,972	13,880	-6,092
建物・構築物	25,100	22,859	-2,241	新株予約権付社債	9,333	9,331	-2
機械・設備	5,814	6,452	638	長期借入金	5,124	0	-5,124
土地	21,016	15,364	-5,652	その他固定負債	5,515	4,549	-966
無形固定資産	2,952	2,699	-253	純資産合計	116,347	116,670	323
その他固定資産	18,531	17,107	-1,424	少数株主持分	425	498	73
資産の合計	162,778	153,306	-9,472	負債・資本の部合計	162,778	153,306	-9,472
(換算レ - ト1US\$=)	(117.48)	(117.90)		(換算レ - ト1US\$=)	(117.48)	(117.90)	
(1EURO=)	(142.80)	(149.82)		(1EURO=)	(142.80)	(149.82)	



株主資本比率向上、販売管理費は横ばい

連結ベース

		第1四半期	中間期	第3四半期	通期
株主資本比率 (下段は株主資本:百万円)	2006年 3月期	65.0% 96,174	67.4% 100,821	68.6% 108,555	71.5% 116,347
	2007年 3月期	70.0% 111,090	75.8% 116,171		

		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
売上高原価率 (下段は売上原価:百万円)	2006年 3月期	62.0% 17,449	62.8% 23,826	60.5% 21,587	62.2% 27,122
	2007年 3月期	59.3% 21,324	62.5% 26,571		

販売管理費率 (下段は販売管理費:百万円)	2006年 3月期	32.6% 9,167	26.4% 10,021	26.5% 9,458	23.9% 10,414
	2007年 3月期	28.0% 10,057	24.6% 10,450		



各回転期間の改善傾向続く

連結ベース

	2006年3月期 中間期		2007年3月期 中間期	
	中間期実績		中間期実績	増減
売上債権回転期間	2.36	ヶ月	2.14	-0.22 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.35	ヶ月	2.07	-0.28 ヶ月
仕入債務回転期間	0.79	ヶ月	0.79	0.00 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	5.07	ヶ月	3.73	-1.34 ヶ月
借入金回転期間(含む社債)	2.55	ヶ月	0.83	-1.72 ヶ月



CF表：キャッシュフロー経営の徹底

連結ベース

(単位：百万円)	2006年3月期 中間期	2007年3月期 中間期
	2005年4月～ 2005年9月	2006年4月～ 2006年9月
営業活動によるCF	4,951	11,724
投資活動によるCF	776	538
財務活動によるCF	7,435	-12,992
現金および同等物の増減額	13,180	-825
現金および同等物の期首残高	12,772	31,582
現金および同等物の期末残高	25,952	30,757

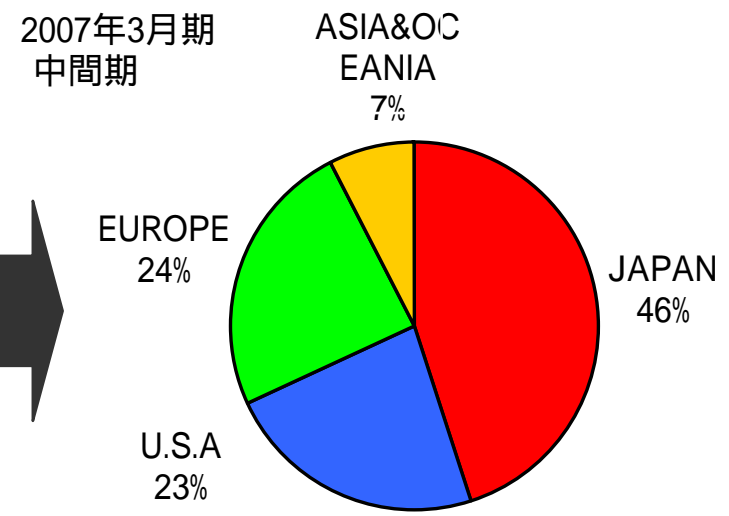
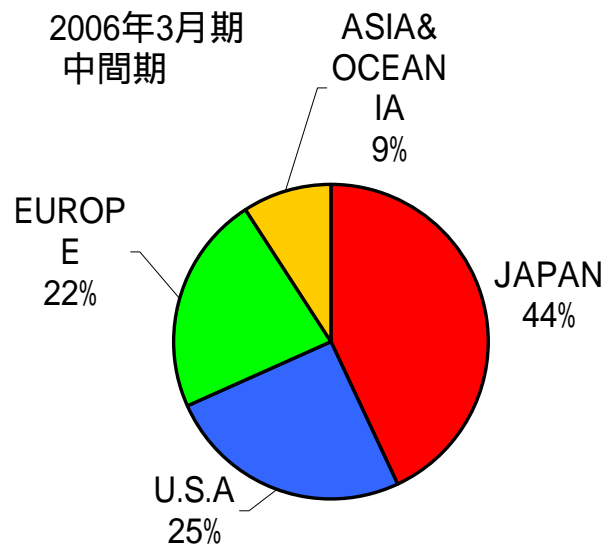
財務活動によるCF：長期借入金返済 -10,208百万円



地域別売上高：日・米・欧の三極で好調

連結ベース

	2006年3月期 中間期		2007年3月期 中間期		
	売上高	現地通貨 ベース	売上高	(増減率)	現地通貨 ベース
JAPAN	28,355		35,214	24.2%	
U.S.A	16,781	152 M\$	18,206	8.5%	158 M\$
EUROPE	14,789	109 M€	19,159	29.5%	131 M€
ASIA&OCEANIA	6,117		5,852	-4.3%	
合計	66,042		78,431	18.8%	





売上・売上高原価率は中期計画目標達成

連結ベース

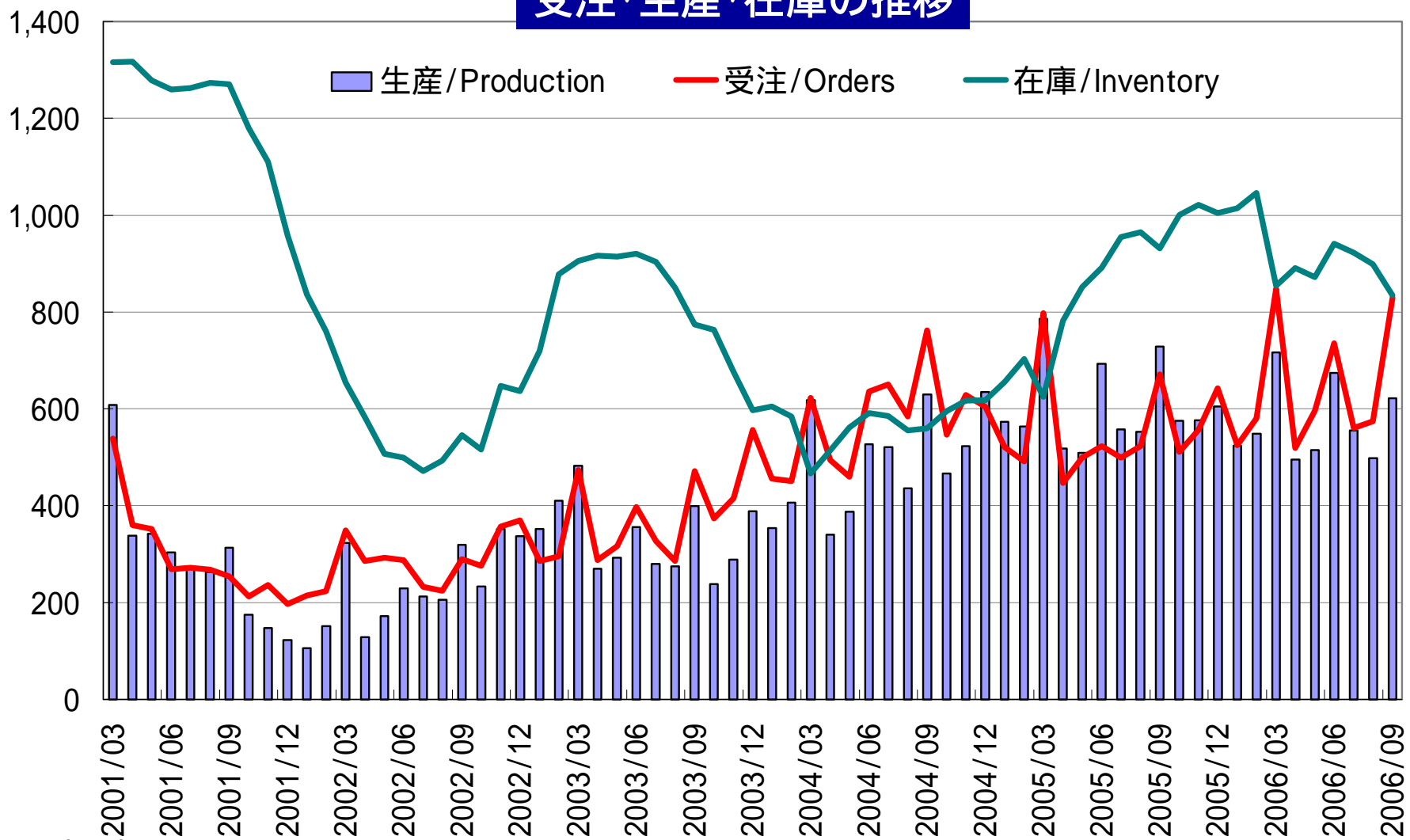
	2004年度	2005年度		2006年度中間期		2007年度
	結果	目標	結果	目標	結果	目標
Mori-5						
・売上(億円/月)	102	118	121	131	131	146
・世界シェア	3.4%	4.0%	4.2%	4.5%	4.5%	5.0%
Mori-6						
・売上高原価率	66%	64%	61.9%	62.0%	61.1%	60%
Mori-8						
・生産台数(台数/月)	600	608	592 (3月717台)	644	560 ×	800



生産を上回る受注の伸び

台数/Units

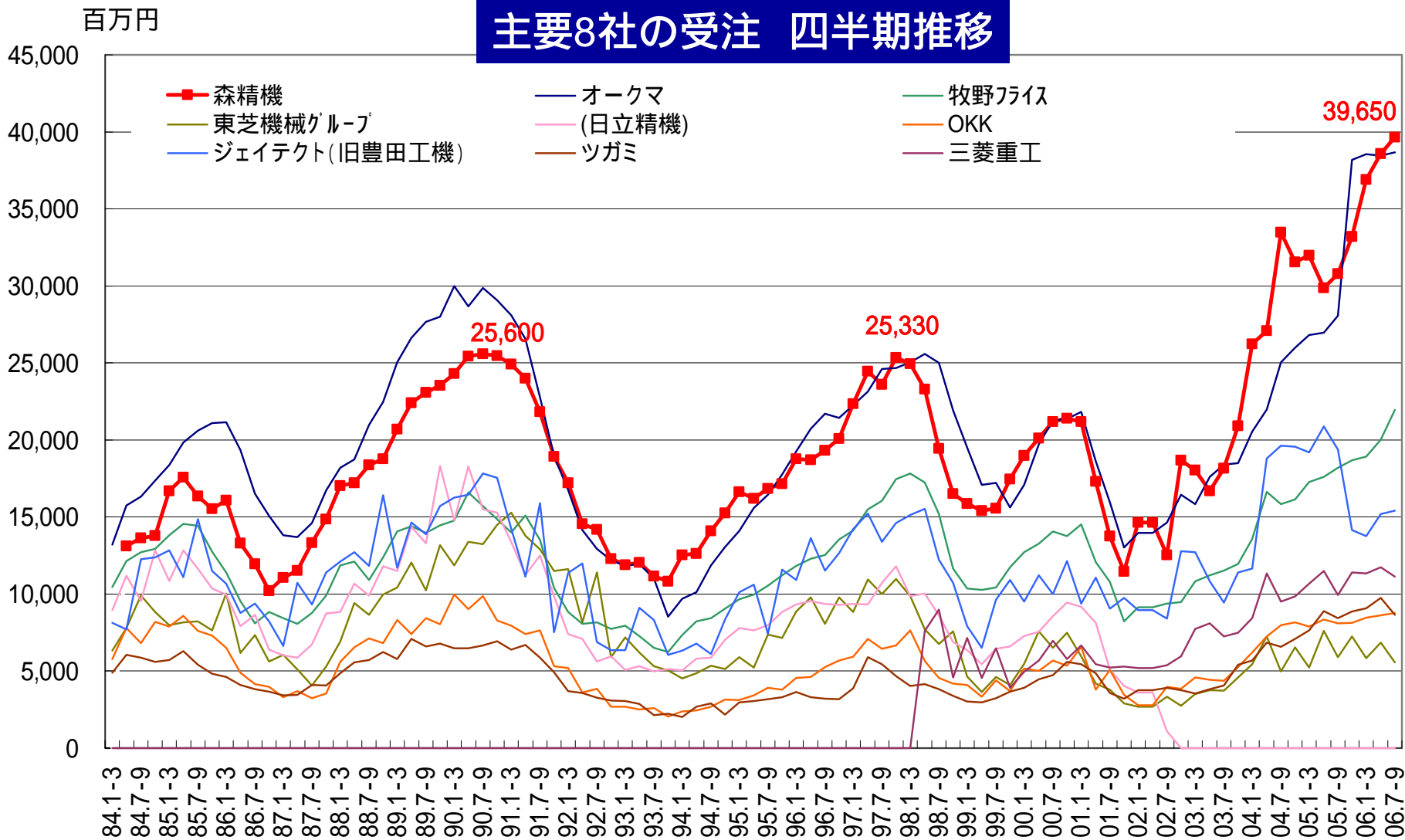
受注・生産・在庫の推移





旺盛な受注状況が続く

主要8社の受注 四半期推移

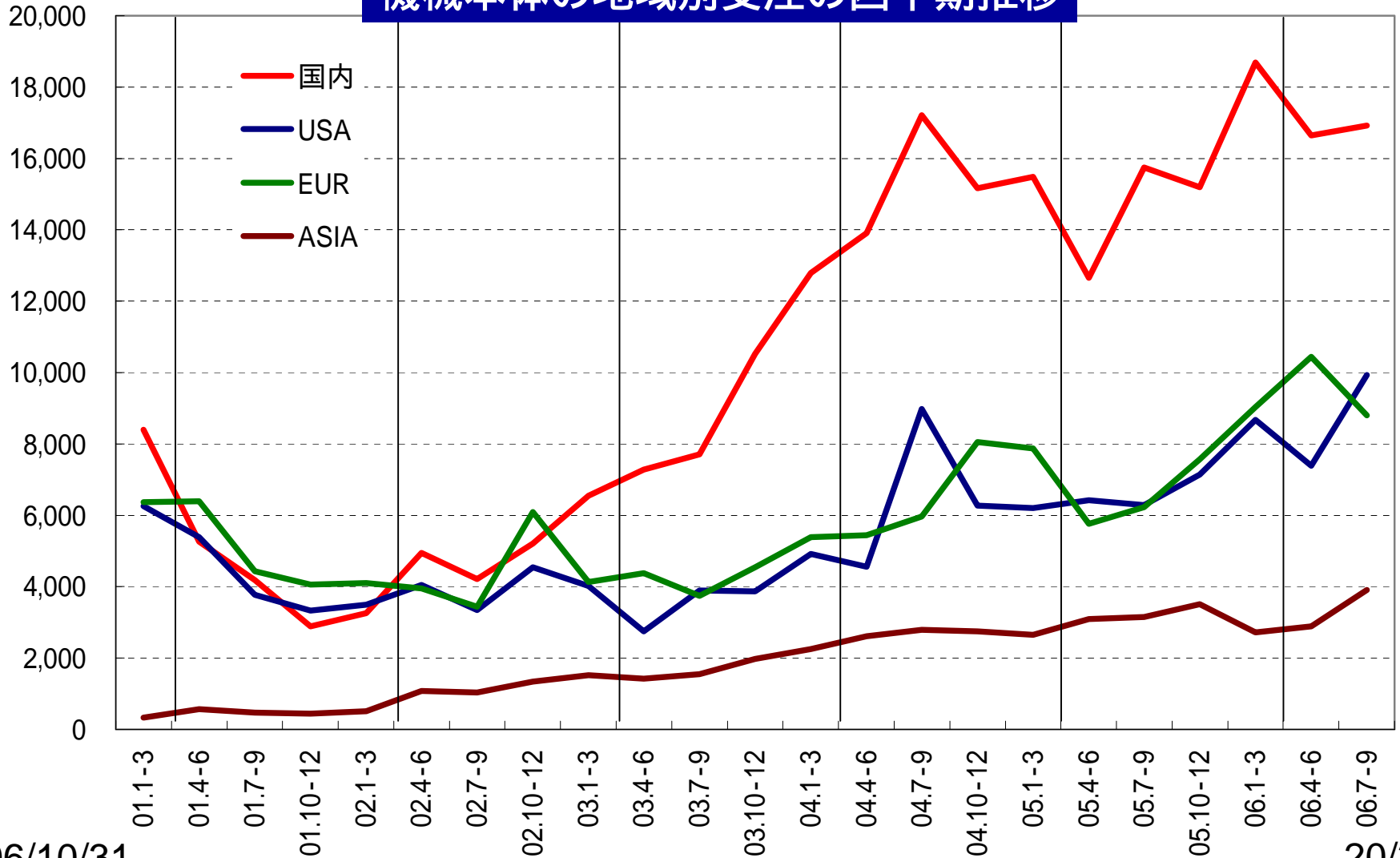




日・米・欧では受注の高原状態続く

受注金額(百万円)

機械本体の地域別受注の四半期推移

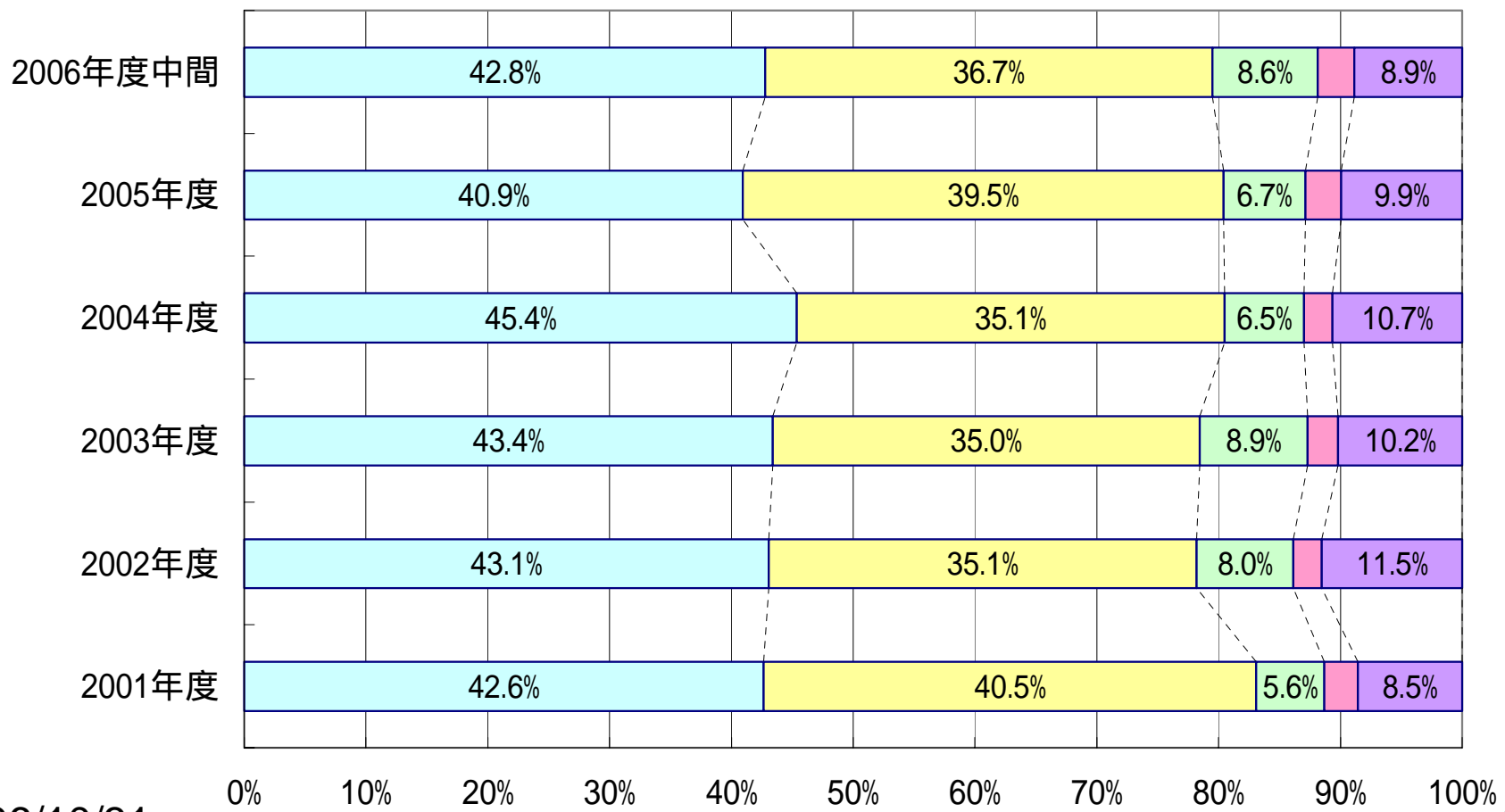




マシニングセンタ、複合加工機の割合増加

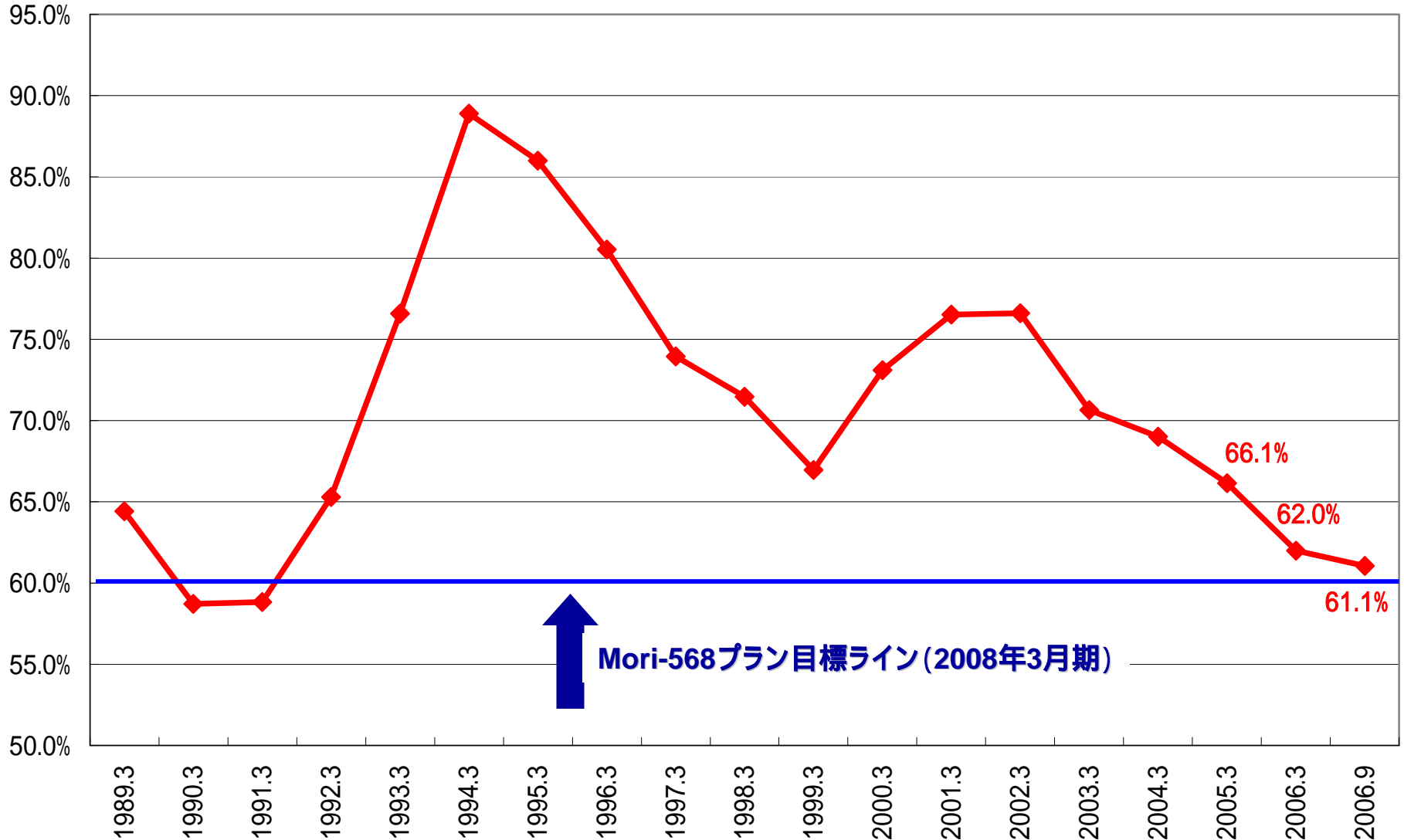
売上高の機種別構成比

■ マシニングセンタ
 ■ 旋盤
 ■ 複合加工機
 ■ 研削盤
 ■ サービス・パーツ 他





原価率の低減傾向続く



Mori-568プラン目標ライン(2008年3月期)



下期に向けて

- 受注は好調、下期の視界も良好
- 通期上方修正、売上高1,620億円へ
- 新工場の立ち上げ
 - 主軸、板金、鋳物、千葉機械
- 11月1日よりJIMTOF2006開催
 - 25機種展示 (NZ2000、NM、NT、Dura等)
- 更なる増収増益に向けて
 - 原価低減
 - 生産増強



通期予想上方修正

連結ベース

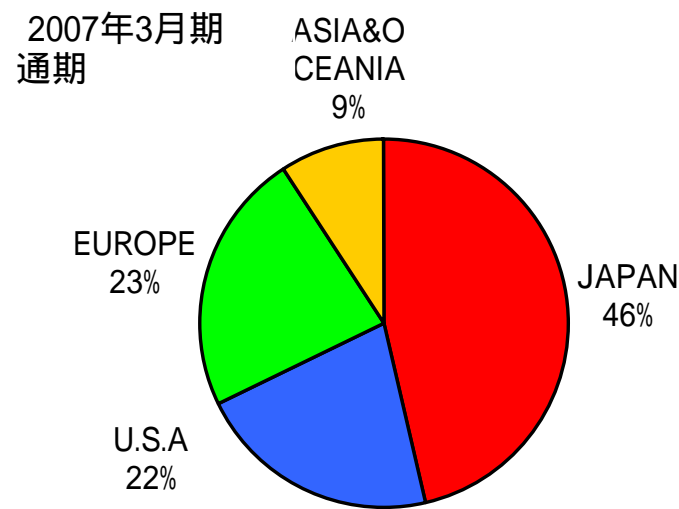
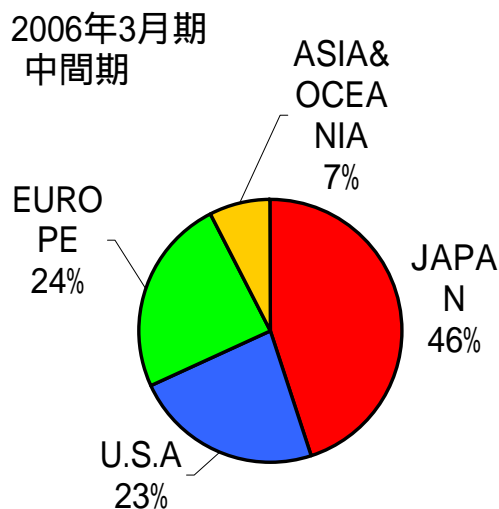
(百万円)	2007年3月期 中間期	2007年3月期			
	実績	期初予想	修正予想	増減	対期初予想
売上高	78,431	157,500	162,000	4,500	2.9 %増
営業利益	10,029	20,000	21,000	1,000	5.0 %増
(売上高比率)		12.7%	13.0%	0.3%	-
経常利益	10,037	19,500	20,800	1,300	6.7 %増
(売上高比率)		12.4%	12.8%	0.5%	-
税引前利益	5,032	-	-	-	- %増
当期利益	4,585	11,200	14,000	2,800	25.0 %増
(換算レ - ト 1US\$=)	(114.98)		(114.00)		
(1EURO=)	(136.15)		(142.00)		



国内・欧州での売上増を見込む

連結ベース

	2007年3月期	
	中間期	通期
	売上高	期初予想からの増減
JAPAN	35,214	75,000
U.S.A	18,206	35,000
EUROPE	19,159	37,000
ASIA&OCEANIA	5,852	15,000
合計	78,431	162,000
		4,500





施策・成果



NTの好調な受注状況続く



Duraの受注も好調



DuraVertical



DuraTurn



5軸加工機NMシリーズ登場



NMV5000 DCG



NMH6300 DCG

量産加工対応複合加工機 NZ2000

世界初、3つのビルトインモータ・タレット™ を搭載、加工能力3倍



NZ2000 T3Y3



設備投資の状況

2006年10月27日現在
中期計画での総投資計画額220億円のうち、
165.9億円を発注済。

2006年度中間期	設備投資額	72.7億円(内リース 20億円)
	減価償却額	22.7億円(+年間設備リース料 7.5億円)

板金工場竣工

2006年10月16日竣工
延床面積5,170 m² (1,564 坪)



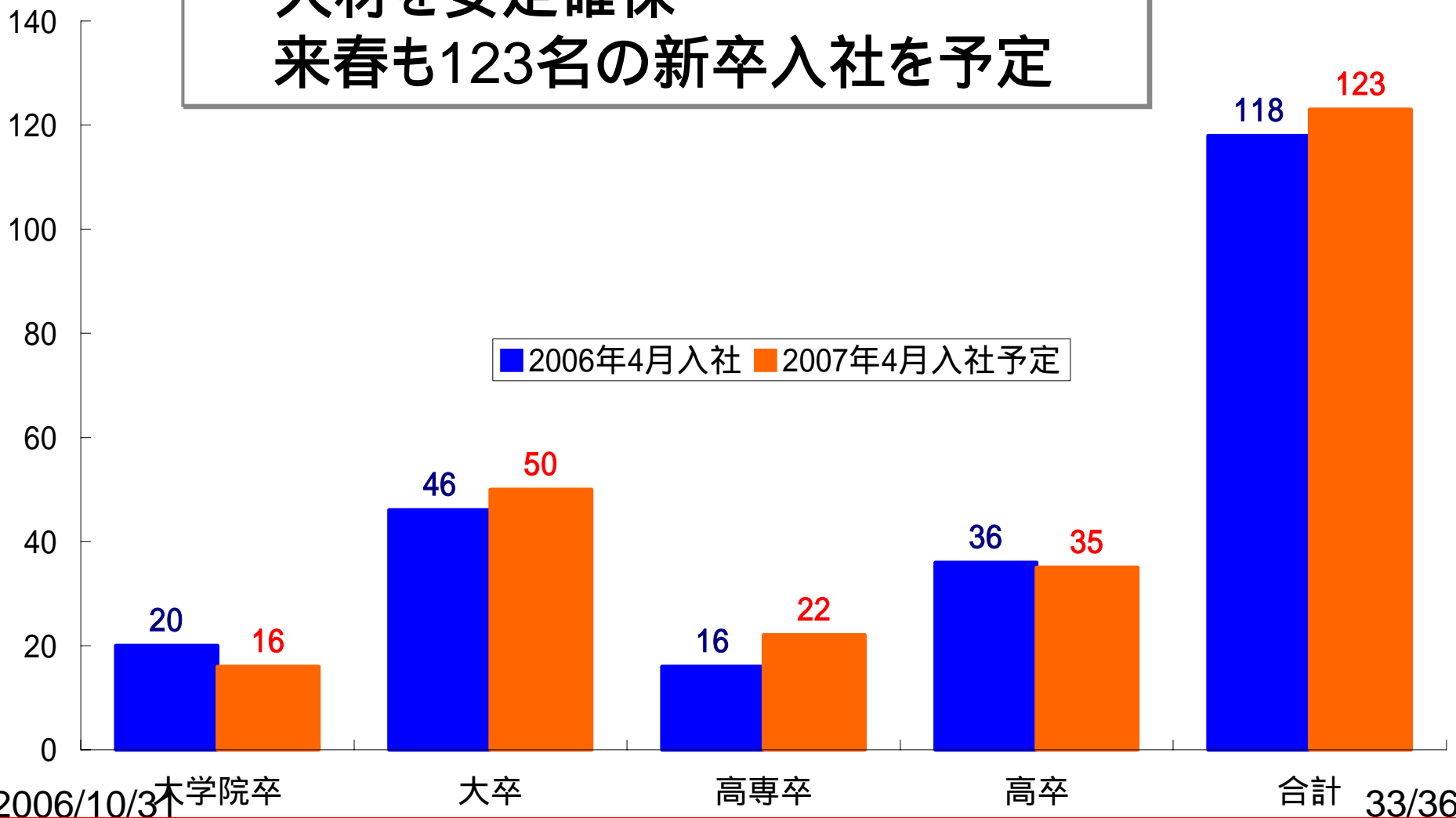
2005年度 2007年度
内製化率5% 35%に



新卒採用活動の成果

単位:人

人材を安定確保
来春も123名の新卒入社を予定



2006/10/31 大学院卒

大卒

高専卒

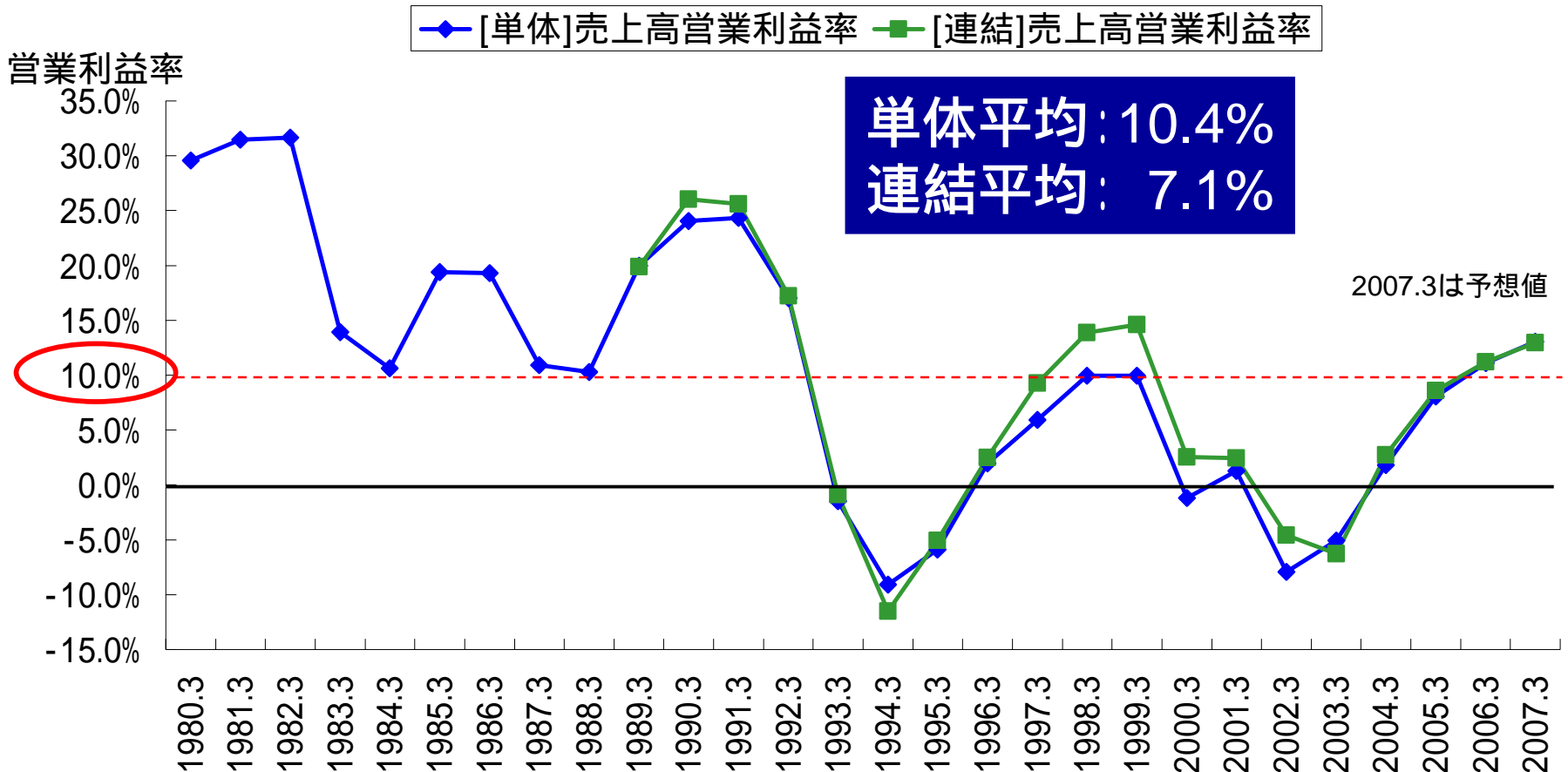
高卒

合計 33/36



売上高営業利益率 平均10%を目指す

上場以来の営業利益率の推移





JIMTOF2006



第23回 日本工作機械見本市

JIMTOF2006 ご案内

2006年11月1日(水) ~ 11月8日(水) 9:30-17:00
(最終日は16:00まで)

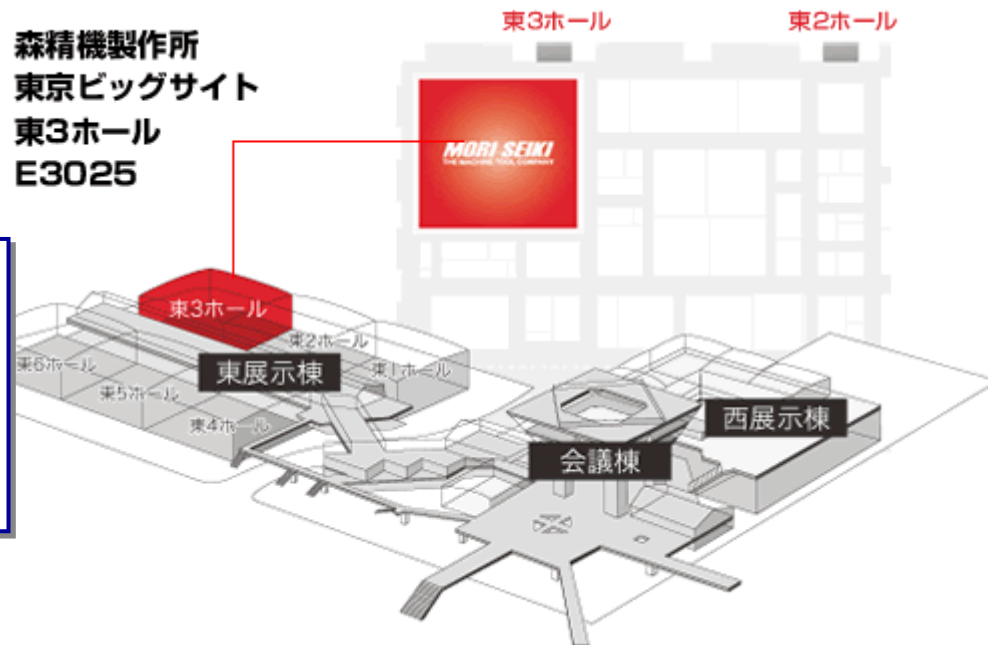
東京ビッグサイト 東3ホール E3025



森精機製作所
東京ビッグサイト
東3ホール
E3025

東3ホール

東2ホール



11月1日(水)
~ 11月8日(水)
東京ビッグサイトにて

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

